

授業科目名	修練修養学	単位数	1
担当名	坂下 充	教場	303教室
科目概要及び到達目標	少林寺拳法が、金剛禅の「行」であることの根拠や原理原則を学び、修練に役立てる。また、その原理原則が他者とのコミュニケーションや協力関係づくりに役立つことを理解し、日常に役立てる。		
講義内容・授業計画	少林寺拳法機関誌において展開された修養論をもとに、実際の修練と照らし合わせて考える。——予定28単位時間 いちご大福論（1h）／教えは世に溢れても論（1h）／煩わしさを楽しむ論（1h）／エサ論（2h）／やればできる論（1h）／善循環論（2h）／危なさ大切論（1h）／二人三脚論（2h）／長短表裏一体論（2h）／修行の心得の秘密（1h）／平常心と禅の南北論（2h）／攻者の心得論（1h）／守者の心得論（1h）／脚下照顧・時間論（1h）／脚下照顧・空間論（1h）／失敗大事論（1h）／自分へのこだわり論（2h）／人間関係の豊かさ論（1h）／「で、それが一体何になる」論（2h）／復習・まとめ（2h）		
テキスト	随時、プリントを配布する。		
参考文献	『少林寺拳法教範』他		
成績評価の基準	成績評価は、定期試験の点数による。		
履修上の注意・履修要件	なし		
備考			